

## ■ PDN 専用ケーブルの早見表

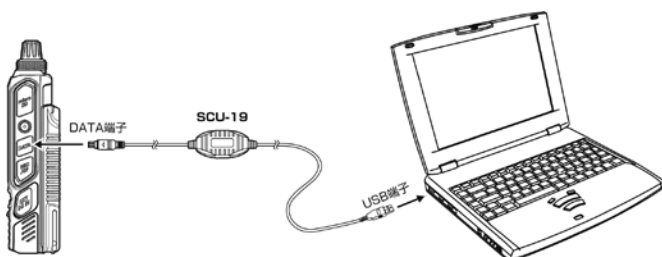
機種	PDN モード (デジタル専用)	ポータブル HRI モード
FTM-400D/XD	SCU-20 (付属)	SCU-40
FTM-100D	SCU-20 (付属)	SCU-40
FT2D/FT3D	SCU-19	SCU-39

## ■ PDN モード・ダイレクト運用 (FT2D/FT3D, FTM-400D/XD, FTM-100D)

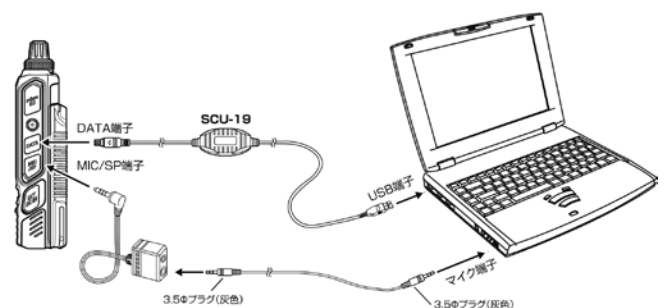
- 「X」 + 「BAND」 (FTM-400D/XD または FTM-100D は「Dx」) 押しながら電源を入れる。  
ディスプレイに「PDN」が表示される (もう一度同じ操作で PDN 解除)。
- 「A/B」を押す (FTM-400D/XD は「右下の DIAL」を押す)。  
ディスプレイに「DIRECT」が表示される。
- 「X」 (FTM-400D/XD または FTM-100D は「Dx」) を押す。
- WIRES-X ソフトウェアのアクティブ・ウインドウ (ノード/ルーム・リスト) からデジタル・ノードまたはデジタル専用ルームを選択する。
- PTT を押して交信する。
- WIRES-X ソフトウェアの「接続 (C)」 → 「切断 (D)」接続を解除する。  
(FT3D/2D は「BAND」) 長押しでも可能です。
- 「X」 (FTM-400D/XD または FTM-100D は「DX」) 長押しでノードとの接続を解除する。

## ■ ポータブル HRI モード・ダイレクト運用 (FT2D/FT3D, FTM-400D/XD, FTM-100D)

- 「X」 + 「BACK」 (FTM-400D/XD または FTM-100D は「Dx」 + 「GM」) を押しながら電源を入れる。  
ディスプレイに「WIRES-X NODE」が表示される。
- 「A/B」を押す (FTM-400D/XD は「右下の DIAL」を押す)。  
ディスプレイに「DIRECT」が表示される。
- FT3D/2D の場合は、「V/M」でディスプレイに\*を表示, アナログ音声をオンにする (非表示はアナログ音声オフ)。  
(FTM-400D/XD または FTM-100D は不要)
- WIRES-X ソフトウェアのアクティブ・ウインドウ (ノード/ルーム・リスト) からノードまたはルームを選択する。
- ノード機の PTT を押すか, あるいは別の C4FM トランシーバで呼び出し・交信をする。
- WIRES-X ソフトウェアの「接続 (C)」 → 「切断 (D)」接続を解除する。  
(FT3D/2D は「BAND」) 長押しでも可能です。  
アナログの音量の調整が必要になります (アクセスポイント運用も同様)。PDN 取扱説明書または QEX No.30 27 ページの「ポータブル HRI モード操作ガイド」を参照してください。



PDN モード・ダイレクト運用の接続例



ポータブル HRI モード・ダイレクト運用の接続例

## ■操作コマンド一覧早見表

### ● PDN モード

機能 / 機種	FTM-400D/XD	FTM-100D	FT3D/FT2D
PDN モード起動 / 解除	「Dx」押しながら電源 ON	「Dx」押しながら電源 ON	「X」と「BAND」押しながら電源 ON
PDN 運用開始	「Dx」押す	「Dx」押す	「X」押す
アクセスポイント / ダイレクト運用切り替え	下側 DIAL を押す	「A/B」を押す	「A/B」を押す
コンパス画面切り替え	「DISP」を押す	「DISP」を押す	「DISP」を押す
セットモード呼び出し	「DISP」を長押し	「DISP」を長押し	「DISP」を長押し
ファンクションメニュー呼び出し	「F/MW」を押す	「F」を押す	「F MW」を押す
DG-ID 番号設定 <sup>※1</sup>	「GM」を長押し	「GM」を長押し	「GM」を長押し
スケルチ・オープン <sup>※1</sup>	マイクの P1 を押す	マイクの P1 を押す	「MONI」を押す
画面表示 (バックライト) 消灯 <sup>※2</sup>	「DISP」を長押し	「DISP」を長押し	—
TX/RX LED 点灯・非点灯切り替え <sup>※1</sup>	—	—	「V/M」を長押し
状態表示画面の切り替え <sup>※3</sup>	—	—	「V/M」を押す
スケルチ調整 <sup>※1</sup>	「SQL」タップ後、 上側 DIAL を回す	「SQL」を押す、DIAL を回す	「SQL」を押す、DIAL を回す
Busy 判定の切り替え <sup>※1</sup> (ノイズスケルチ / DG-ID 番号一致)	下側 DIAL を長押し	「A/B」を長押し	「A/B」を長押し
スピーカミュート設定 <sup>※3</sup>	「MUTE」をタップ MUTE OFF → MUTE ALL → MUTE RX → MUTE TX	「A/B」を押す MUTE OFF → MUTE ALL → MUTE RX → MUTE TX	「A/B」を押す MUTE OFF → MUTE ALL → MUTE RX → MUTE TX

※1：アクセスポイント運用時のみ動作 ※2：WIRES-X 接続中に動作 ※3：WIRES-X 接続中・アクセスポイント運用時のみ動作

### ●ポータブル HRI モード

機能 / 機種	FTM-400D/XD	FTM-100D	FT3D/FT2D
ポータブル HRI モード起動 / 解除	「Dx」と「GM」を押しながら電源 ON	「Dx」と「GM」を押しながら電源 ON	「X」と「BACK」を押しながら電源 ON
アクセスポイント / ダイレクト運用切り替え	下側 DIAL を押す	「A/B」を押す	「A/B」を押す
コンパス画面切り替え <sup>※5</sup>	「DISP」を押す	—	「DISP」を押す
スケルチ・オープン <sup>※4</sup>	—	—	「MONI」を押す
画面表示 (バックライト) 消灯	「DISP」を長押し	「DISP」を長押し	「DISP」を長押し
TX/RX LED 点灯・非点灯切り替え	—	—	「V/M」を長押し
送信音モニター機能 <sup>※5</sup>	—	—	「V/M」を押す
ディマー調整	上側 DIAL を回す	DIAL を回す	「BAND」を長押し
コントラスト調整	下側 DIAL を回す	—	—
スケルチ調整 <sup>※4</sup>	「SQL」タップ後、 上側 DIAL を回す	「SQL」を押す、DIAL を回す	「SQL」を押す、DIAL を回す
Busy 判定の切り替え <sup>※4</sup> (ノイズスケルチ / DG-ID 番号一致)	下側 DIAL を長押し	「A/B」を長押し	「A/B」を長押し

※4：アクセスポイント運用時のみ動作 ※5：ダイレクト運用時のみ動作

JQ1ZEV WIRES-X QSL View 配布資料

© JK1MVF Eiichi Takada 2019

JQ1ZEV URL: <https://blog.goo.ne.jp/jq1zev>

JK1MVF URL: <https://jk1mvf.com/>